

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境(エコ)フェスタ					所管	環境清掃部		
								環境課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	250	計画事業名	環境(エコ)フェスタ		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 平成13年度			
		[施策] 54 環境配慮行動の促進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	その他		[法令等名]	環境フェスタ実施要領					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民(来場者) 最終的な対象 : 一般区民								
	事業目的	環境問題を区民とともに考え、環境にやさしい暮らしの実践を図り、資源循環型社会等の実現を目指す。区内の環境・リサイクル団体の活動や学習成果の発表と企業の取組みの展示等を実施し、広く情報を提供することによって区民意識の啓発とその高揚を図る。								
	事業内容 [H30年度]	環境(エコ)フェスタは、区内の環境・リサイクル実施団体(参加団体)及び企画・運営に携わることを希望する者で構成する、実行委員会を設置して企画・運営している。平成30年度は53企画、40団体(連携都市、関係課を含む)が出展した。実行委員会企画として、アトリウムでは29年度に引き続きフードドライブを実施、ホールでは食に関する講演会等を開催した。								
委託の有無	一部委託		委託内容	①実行委員会に運営及び展示委託 ②会場設営及び警備						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称		単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
					目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	開催数	回	1	1	1	1	1	1	100.0%
		参加数	団体	前年度比増	41	41	40	前年度比増	-	
	成果指標	来場者数	人	前年度比増	11,232	11,808	13,205	前年度比増	-	
	決算額 (単位:千円)					H28年度		H29年度		H30年度
						2,704		2,659		2,909
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				5,350		5,028		5,290
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				2,496		2,428		2,717
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				208		231		191
		総経費				8,054		7,687		8,198
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0		0		0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0		
一般財源(区負担額)				8,054		7,687		8,198		
課題及び今後の進め方	ホールイベントの集客が少ないことが課題であり、情報発信をはじめ、何ができるか、実行委員会において検討している。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	環境イベントとして18回目を迎え、区民に定着したイベントとなっている。今後も環境に対する普及啓発を推進するためには、実行委員会を組織して、区民との協働により事業を実施する必要がある。							
	効率性	3	会場設営や警備等に係る経費は区が直接負担し、イベントの企画・運営を実行委員会に委託することで、事業の効率化を図っている。また、会場設営経費の見直しを毎年行っている。							
	手段の適切性	3	環境・リサイクル団体や企業などの参加団体で構成された実行委員会により企画・運営を行い、発足当初から活発な意見交換を行っており、事務局との協力体制も整っている。							
	目的達成度	4	来場者数は前年度より増加が見られ、さらに新たな出展団体が加わり、今までの出展団体もより内容に工夫を凝らし展示内容が充実した。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
ホールイベントとして、「食品ロス」「エネルギー問題」「食育」それぞれの視点での環境問題に関する講演会を行った。アトリウムでは、前年に社会実験として行ったフードドライブが好評を得たので、さらに事前周知を行って事業内容の充実を図った。来場者数も増加傾向にあることから、新たな環境情報を発信し、広く普及啓発の機会とするため、今後もより効果的な内容や周知方法を検討し、一層の定着を図っていく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		